

# 小学校 1年生 国語 【みぶりで つたえる】

## ☆こんな本を希望

「みぶりでつたえる」に関する本を借りたい。



## ☆図書館で準備できる本

書名	出版社	備考
<i>世界のあいさつ</i>	福音館書店	長新太作 作野村雅一監修
<i>ちょっとだけまいご</i>	BL出版	クリス＝ホートン/作 木坂涼/訳
<i>もじのないえほん なんにかわるかな？</i>	ほるぷ出版	パット＝ハッチンス/作
<i>ぼくの いぬが まいごです！</i>	徳間書店	エズラジャクキーツ作 バットシューレ絵 外国から引っ越しがいなくなってしまう探に出かけします。大勢の人が身振り手振りで助けてくれます。
<i>きこえるきこえる</i>	ブッキング	マリー＝ホールエッツ文絵 ふなざきやすこ訳 ことばを使わなくてももてきたばかりで言葉もわからない男の子の愛犬みぶりでいろいろなことが伝えられるというメッセージが伝わる絵本。
<i>みそ豆</i> みタイききタイさわりタイ	自分流文庫	林家とんでん平監修/著 各ページに透明の点訳シートと手話落語の写真を付けた絵本。
<i>ハンドトークジラファン</i>	小学館	門秀彦作 人見知りで口下手な男の子が、ある日森で不思議な動物・ジラファンと出会います。ジラファンは言葉ではなく、身振り手振りで会話する動物でした。コミュニケーションと何かを問いかける絵本。
<i>てですき・きらい</i>	ほるぷ出版	田中ひろし文 せべまさゆき絵 「うれしい」「たのしい」「すき」「きらい」…。そんな気持ちを手話で表すと、どうなるのかな？手話を使った親子で楽しめる絵本
<i>おふろやさん</i> (文字のない絵本)	福音館書店	西村繁男作 「これからあっちゃんはおとうさんとおかあさんとあかちゃんといっしょにおふろやさんにでかけます。」一番最初にこの文章がありますが、あとは文字がありません。おふろやさんの風景を表情や身振りから想像してみましよう。
<i>やこうれっしゃ</i> (文字のない絵本)	福音館書店	西村繁男作 夜行列車の出発から到着までの駅や車内の様子を細かく描いている絵本です。乗客の様子を表情や身振りから想像してみましよう。
<i>耳の聞こえないメジャーリーガーウイリアム・ホイ</i>	光村教育図書	ナンシーチャーニン著 ジェズツヤ絵 聴覚障害を患う男の伝記。審判の音が聞き取れず、判定を把握できない苦難に遭う。そんな中で判定をジャスチャー（身振り）で行ってもらうのはどうかと。審判のジャスチャーを考えたメジャーリーガーのお話。
<i>ちょっとだけまいご</i>	BL出版	クリス＝ホートン作 木坂涼訳 巣から落ちて迷子になったちびフクロウ。リスがお母さんを探すお手伝いをします。「きみのかあちゃんはどうなかんじ？」「ぼくのママはね、すごーくおおきいんだ。こーんなに。」ちびふくろうのジャスチャーをヒントに連れていった先は…
<i>おはなしおばさんの世界のおはなし・むかししむかし</i> (おはなしおばさんシリーズ)	一声社	フランドーリング編著 アメリカなどの世界の楽しい昔話。しぐさや身振り手振り、歌などを交えた語りをお話とともに紹介
<i>ゆらゆらゆくよ</i>	小峰書店	クオン・ジョンセン文 キム・ヨン Chol絵 『ゆらゆら来る、のっしのっし歩く、キョロキョロさぐる…』この言葉で作られたお話がおじいさんとおばあさんを助けることになる韓国の愉快的な昔話。

※斜体は教科書に紹介されている本

